平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	プロジェクト実習(Project Practice)			**授業コード**	L010101
担当教員名	島岡　成治、廣田　篤彦、近藤　正一			**科目ナンバリングコード**	L10102
配当学年	1	**開講期**	前期		
必修・選択区分	建築コース(選択) インテリアデザインコース(選択) 環境・地域創生コース(選択必修)	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	クオーター制科目(後半)です。制作した竹灯籠を地域イベント(鶴崎清正公二十三夜祭)に出品しますので、祭りの当日は交代制で終日参加してもらいます。				
受講心得	チーム活動によるものづくりと地域貢献への取り組みを重視します。多くの市民の方々の協力を得て実施しますので、感謝の気持ちをもち、迷惑のかからないように行動して下さい。				
教科書	ありません。				
参考文献及び指定図書	適宜紹介します。				
関連科目	プロジェクト演習1、地域再生論、環境・地域創造演習、スペースデザイン				

授業の目的	地域資源を有効に活かすには、地域にどのような資源があるかを正しく理解する必要があります。本授業では、大分特産の資材である「竹」を取り上げ、その性質や活用法などを理解した上で、竹を活用した祭への参加活動として灯籠プロジェクトを実施します。チーム活動による竹灯籠の制作、祭の準備・運営を通じて、竹の活用法とその効果、祭の意義などについて学修することを目的とします。
授業の概要	本授業では、祭の行われる鶴崎という場所と祭の歴史、さらに資材としての「竹」について学びながら、地域の祭での竹灯籠プロジェクトに取り組みます。具体的には、チーム活動で、竹灯籠の制作・準備、祭当日の計画立案、設置・運営、片付けを行います。

〇授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： ガイダンスとチーム編成 以下の内容を実施します。 〇ガイダンス　〇23夜祭＆企画紹介　〇チーム編成　〇ポートフォリオ作成	配付資料 演習課題
第 2 週 ： 竹について学ぶ 以下の内容ついて講義します。 〇竹産業の歴史と現状　〇竹の活用方法	配付資料 演習課題
第 3 週 ： 鶴崎について学ぶ1 以下の内容について講義します。 〇鶴崎という場所と歴史　〇23夜祭の歴史的・現代的意味	配付資料 演習課題
第 4 週 ： 鶴崎について学ぶ2 以下の内容を実施します。 〇鶴崎のまちと竹灯籠プロジェクトの現地視察	配付資料 演習課題
第 5 週 ： 竹灯籠プロジェクトの企画 以下の内容を実施します。 〇レイアウトイメージの作成　〇コンセプト企画　〇工程の作成	配付資料 演習課題
第 6 週 ： 竹灯籠の作成1 以下の内容を実施します。 〇レイアウト作成－図面作成，数量計算　〇竹灯籠の作成－形状加工，洗浄，油抜き 〇大工道具の使用方法	配付資料 演習課題
第 7 週 ： 竹灯籠の作成2 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の作成－加工，ペイント　〇加工機器の使用方法　〇イベント告知準備	配付資料 演習課題
第 8 週 ： 竹灯籠の作成3 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の作成－加工，ペイント　〇加工機器の使用方法　〇イベント告知準備	配付資料 演習課題

第 9 週 : 竹灯籠の作成4 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の作成－仕上げ 〇点火実験－光の色の理解　〇その他使用資材の準備	配付資料 演習課題
第10週 : 竹灯籠の作成5 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の作成－仕上げ 〇点火実験－光の色の理解　〇その他使用資材の準備	配付資料 演習課題
第11週 : プロジェクト実施前の最終確認1 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の最終確認　〇当日工程の調整及び資材の最終確認	配付資料 演習課題
第12週 : プロジェクト実施前の最終確認2 以下の内容を実施します。 〇竹灯籠の最終確認　〇当日工程の調整及び資材の最終確認	配付資料 演習課題
第13週 : 竹灯籠プロジェクトの実施 以下の内容を実施します。 〇23夜祭竹灯籠イベント	配付資料 演習課題
第14週 : 竹灯籠プロジェクトの実施 以下の内容を実施します。 〇23夜祭竹灯籠イベント	配付資料 演習課題
第15週 : 竹灯籠プロジェクトの実施 以下の内容を実施します。 〇23夜祭竹灯籠イベント	配付資料 演習課題
第16週 : 期末試験 以下の内容を実施します。 〇振り返りテスト　〇ポートフォリオ作成	配付資料 演習課題

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①地域における祭りの歴史的・現代的意味に関心をもち、地域のイベントに積極的に参加することができる。
【知識・理解】	②竹の材料としての性質，活用方法及び竹産業ついて理解する。 ③地域の歴史と地域イベントの現状と意義について理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	④基本的な材料加工技術を習得し、実践を通じて竹灯籠による場所の演出方法を修得する。 ⑤チーム活動の重要性について理解する。
【思考・判断・創造】	⑥竹産業や地域イベントの今後の在り方について考えるための基礎力を身につける。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点	15点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	15点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	竹灯籠を制作し、23夜祭に光の空間演出に参加することが最低条件です。その内容については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。 S：よく満たしている。 A：ほぼ満たしている。 B：一応満たしている。 C：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	毎回の講義・演習に出席することが最低条件です。また、竹灯籠の作成や23夜祭の竹灯籠プロジェクトにおいて優れたリーダーシップを取るなど顕著に活躍した者は記録して加点することがあります。